

令和4年度八幡平市地域農業マスタープラン座談会  
開催実績

マスタープラン名	開催日時・場所	参加人数	地域計画の取組について
駅前、上・仲町、下町	R4. 11. 28(月) 午後6時～ 大更コミセン	8	中心経営体と農地の所有者で話し合い、集約に繋がるように優先順位を付けて取り組んでいく。地区内の中心経営体は4名と少なく時間を要するエリア。【松村勝彦農業委員と相談して進める】
松川	R4. 11. 15(火) 午前10時～ 松川公民館	12	耕作者全体で話しをしてもまとまらないため、4～5ブロックに分けて話し合いを行っていく。【地図を作成して農家組合長、地域リーダー高橋喜代春と相談して進める】
山後	R5. 1. 24(火) 午後1時30分～ 山後公民館	13	田、畑に出来る場所がある程度解るので、それぞれブロックに分けて話し合いを行っていく。話し合いは農地の所有者または耕作者を含めて、耕作の有無を確認する。【向久保勉農業委員と相談して進める】
岡村	R4. 12. 9(金) 午後6時～ 岡村公民館	10	中心経営体と個人の経営者を地図に色分けしてから話し合いを行っていく。【田村真行推進委員と相談して進める】
山子沢	R5. 2. 7(火) 午後1時30分～ 山子沢公民館	9	担い手が希望する農地を、地図に色分けをした原案地図を作成し、所有者を含めて話し合いを行っていく。【田村忍推進委員と相談して進める】
大石平	R5. 2. 3(金) 午後1時30分～ 大石平公民館	13	中心経営体が現耕作農地の周辺も将来耕作する想定で、地図に色分けをして話し合いを行っていく。2/27圃場整備を進めている大石平・渋川のメンバー計10名と関係機関(市農村整備係、改良区、農業公社)で話し合いを行う予定。【三浦美恵子、日戸農業委員と相談して進める】
渋川	R5. 2. 3(金) 午後1時30分～ 大石平公民館	13	中心経営体が現耕作農地の周辺も将来耕作する想定で、地図に色分けをして話し合いを行っていく。2/27圃場整備を進めている大石平・渋川のメンバー計10名と関係機関(市農村整備係、改良区、農業公社)で話し合いを行う予定。【三浦美恵子、日戸農業委員と相談して進める】
渋川開拓・白屋	R4. 12. 5(月) 午後1時30分～ 白屋公民館	12	集落別に、総会等でブロック分けも含めて話し合いを行っていく。【白屋：農家組合長、開拓：推進委員2名と相談して進める】
	R5. 3. 19(日) 午前10時30分～ 白屋公民館	16	白屋集落の総会前に農林課より地域計画の取組について説明を行い参加者全体に周知を行った。
北村	R4. 11. 22(金) 午後6時～ 北村公民館	12	担い手の農地周辺を耕作することで、地図に色分けをして話し合いを行っていく。【工藤廣導推進委員と相談して進める】
両沼	R5. 1. 30(月) 午後1時30分～ 両沼公民館	9	中心経営体で両沼地区内の農地利用のルールを決め、耕作者と話し合いを行っていく。案内文書は開催主旨を解りやすく記載し、参加者を増やしていく。【松村勝彦農業委員と相談して進める】
中関	R4. 11. 17(木) 午後6時～ 中関公民館	10	中心経営体が現耕作農地の周辺も将来耕作する想定で、地図に色分けをして話し合いを行っていく。【竹田和夫農業委員と相談して進める】
五百森	R4. 11. 11(金) 午後1時30分～ 五百森公民館	18	地元の担い手と入作者(法人4組織)で話し合いを行っていく。【資源保全組合事務局と農家組合長に相談して進める】
中村	R4. 12. 15(木) 午後1時30分～ 田頭コミセン	15	中村地区の農家組合員を対象とした座談会を別途開催し、集落内に周知して取り組んでいく。【工藤章夫推進委員を通じて実施する】
	R5. 2. 12(日) 午後1時30分～ 中村公民館	11	耕作者全員にアンケートを配布し、工藤章夫最適化推進委員と農家組合の役員で直接聞き取りのうえ、回収する。秋口にアンケート結果を地図に反映し、話し合いを行っていく。【リーダーに選任された遠藤達也農家組合長と相談して進める】
間羽松	R4. 12. 15(木) 午後1時30分～ 田頭コミセン	15	現在の担い手7～8名で、圃場整備を中心に話し合いを行っていく。【工藤嘉充農業委員と相談して進める】
館山	R4. 12. 15(木) 午後1時30分～ 田頭コミセン	15	地区を2ブロックに分けて話し合いを行っていく。【工藤嘉充農業委員と相談して進める】
高宮	R4. 12. 15(木) 午後1時30分～ 田頭コミセン	15	担い手(5～6名)で集まり、希望する面積と場所を確認してから話し合いを行っていく。【工藤彰推進委員と相談して進める】

令和4年度八幡平市地域農業マスタープラン座談会  
開催実績

マスタープラン名	開催日時・場所	参加人数	地域計画の取組について
上・中平笠	R5. 1. 26(木) 午後6時～ 下平笠公民館	21	各集落の総会等で、全体に周知しながら取り組んでいく。【國司功農業委員を通じて実施する】
			・上平笠は、國司功農業委員から自治会総会の開催有無を確認し、開催する場合は國司農業委員が地域計画取組の説明を行う予定。 ・中平笠は、役員だけで総会を開催するため、國司農業委員から地域計画の取組について説明を行う予定。
下平笠	R5. 1. 26(木) 午後6時～ 下平笠公民館	21	農家組合長に依頼し、集落の総会で市からの説明の機会を作ってもらい、全体に周知しながら取り組んでいく。【高橋一夫農家組合長と相談して実施する】
	R5. 3. 19(日) 13時～ 下平笠公民館	35	白屋集落の総会前に農林課より地域計画の取組について説明を行い参加者全体に周知を行った。
南平笠	R5. 1. 26(木) 午後6時～ 下平笠公民館	21	地域の関係者を集め、話し合いを行っていく。【リーダーに選任された高橋正志氏と相談して進める】
平館地区	R4. 11. 29(火) 午後1時30分～ 平館コミセン	17	地区を数ブロックに分けて話し合いを行っていく。【田村昭雄農業委員と相談して進める】
	R5. 2. 27(月) 午後1時30分～ 平館コミセン	7	前回ブロック分けが曖昧であったため、農業委員及び最適化推進員、農業委員会事務局、農林課で協議を行った。地区は6ブロックに分け、話し合いの対象者はブロック毎の耕作者全てとした。またブロック毎のリーダーは、次回のブロック毎の話し合いを行う際に議題とすることとした。地域の総会から市が案内をもらい、地域計画について説明を行ったいく予定。
寺田地区	R4. 12. 6(火) 午後1時30分～ 寺田コミセン	19	ブロック分けを行うことで話し合いを行っていくが、どのようなブロック分けをするかは、農業委員及び最適化推進員、農業委員会事務局、農林課で話し合いを行っていく。【中村一彦農業委員と相談して進める】
	R4. 12. 26(月) 午後4時30分～ 八幡平市役所	7	農業委員及び最適化推進員、農業委員会事務局、農林課で話し合いを行い、地区を4ブロックに分け、各ブロックの担当者の選任も行った。今後の進め方については、後日話し合いを別途設けることとした。
	R5. 3. 6(月) 午後1時30分～ 寺田コミセン	8	最初に寺田地区全体での耕作者全員を対象に、地域計画策定の主旨とこれまで話し合った内容について説明を行う。その後、農閑期(11～12月)を目途に、ブロック毎に耕作者全員を対象に耕作希望等を聞きとりし、地図に色分けした原案地図を作成、追って所有者の意見を聞いて進めていく。
松尾地区	R4. 12. 19(月) 午後1時30分～ 松尾コミセン	12	地区を7ブロックに分け、耕作者から希望する農地(面積、場所)を確認して話し合いを行っていく。【古川美枝子農業委員と相談して進める】
野駄地区	R4. 12. 20(火) 午後1時30分～ 松尾コミセン	15	対象農地の範囲が広いが、経営規模の大きい3法人の農地が点在しているため、ブロック分けをせず話し合いを行っていく。話し合いのメンバーは、今の中心経営体のみで行う予定。【立柳優農業委員と相談して進める】
松尾寄木地区	R4. 12. 21(水) 午前10時～ 市役所多目的	16	地区を4ブロックに分け、ブロック毎の耕作者全体で話し合いを行っていく。【最適化推進委員と相談して進める】
細野・畑地区	R4. 12. 12(月) 午後2時～ 畑コミセン	14	地区を5ブロックに分け、ブロック毎の耕作者全体で話し合いを行っていく。【阿部正光農業委員と相談して進める】
荒屋地区	R4. 12. 13(火) 午後2時～ 荒屋コミセン	9	勝又安正氏主体で、以降の座談会開催日設定と参加者への声かけを行ってもらい、荒屋地区全体で取り組んでいく。【勝又安正氏と大森直子農業委員と相談して進める】
五日市・浅沢地区	R4. 12. 14(水) 午後2時～ 五日市コミセン	14	担い手の希望農地を地図に色分けした原案地図を作成し、取り組んでいく。【小山田和義農業委員と相談して進める】
田山地区	R4. 12. 16(金) 午後2時～ 田山コミセン	10	沢に沿った農地が多いため、9ブロックに分けて話し合いを行っていく。最初に苗代沢、姥子石、田ノ沢地区をモデルとして取り組み、参考にしながら残り8ブロックも取り組んでいく。【山本範夫農業委員と相談して進める】
	R5. 3. 3(金)		工藤佳輝氏から苗代沢、姥子石、田沢地区の農地所有者を入れた地図と一覧表(所有者)の作成依頼があったため、提供を予定。提供した地図を用いて、工藤氏が若いりんどう農家と話し合いを行っていく予定。